

三世相

馬琴作

馬琴作三世相

2946
137



上はのり...
 下はのり...
 左はのり...
 右はのり...
 上田...
 下田...
 左田...
 右田...
 上田...
 下田...
 左田...
 右田...

○妹夫種時 上下



めんでもん...
 子...
 せ...

け...
 ま...
 た...
 ら...
 あ...
 を...
 を...



これ...
 こ...

めん...
 めん...



めん...
 めん...
 めん...



めん...

あまのあまのしつものた
 すがらうらやかくひきの
 まれたるこのちのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの

かきうらやかくひきの
 まれたるこのちのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの

うらやかくひきのたの

かきうらやかくひきの
 まれたるこのちのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの



うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの

○折檻乃苗代
 ○養生の田草取
 ○五疋の虫送

あまのあまのしつものた
 すがらうらやかくひきの
 まれたるこのちのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの

うらやかくひきのたの
 うらやかくひきのたの



さて又種をぬがせおこすをたふ
 も四つまつのころよりあどくも死
 ころまいれ種をりふさいしきけ
 さんかぐりのあをびきさかえん
 志ひをえれど七もをひぢの
 種をぬふらぬおんあひのふり
 されぬけりなまをかりさる
 ころくせふゆのころ一のころけ
 てらさきまらぬおみをええれ
 ばのあをう十七のころよりえん
 てのあをひらうのくわいし
 るとほやしんせがを種をぬ
 ましれんれんをさ
 たらぬていあをさかひ
 たりさるばる人
 そのあをぬかひのまを
 てるころくそのふれ
 わしんせもさる
 といひさるのこ



○恩愛乃蘭

こひはなつらうのいり
 これぞせうふらうのいり
 おりてくわりのあ



それゆゑに
畑ちの田...
ふりきんぐら
りとのほふ
このついでを
畑ちのさそ
つえのせいの
をせうなら
ふりきんぐら
このついでを
ふりきんぐら

○金銀の實入



二百十日の
ふりきんぐら
このついでを
ふりきんぐら
このついでを

はれは...
のよふ人の...
ふりきんぐら
このついでを
ふりきんぐら
このついでを

○放蕩虚花



このついでを
ふりきんぐら
このついでを
ふりきんぐら
このついでを

かなたのうらむぢのり
 こゑてきかたて
 うりやうしむしやう
 きんぐのびでいあ
 またりししつかの
 ちかやうしひのり
 ろくしひのり
 つひのり
 ひんがしのり
 山のうらむぢのり
 うつてひのり
 かしんがのり
 かなたのり

かなたのり
 うらむぢのり
 ひんがしのり



かなたのり
 うらむぢのり
 ひんがしのり

かなたのり
 うらむぢのり

身代の
 野夫の
 栞

かなたのり
 うらむぢのり
 ひんがしのり



かなたのり
 うらむぢのり

何れもあつたまは
 たるせむらひのうら
 て甲いさつめはた
 のあさこころのこ
 ぶらそとのこひ乃
 うさやとりて
 りんものあさひ乃
 せれんをこころ
 つけさしてまきや
 のみよのまきこみ
 ちまのちりあさひ
 あひちりてまきや
 のうすとりてまき
 乃まきこみあさひ
 らんくまきやとり
 まきとりのこみ
 ぶんぐんとかりけ
 つひよらうらひの
 れたらうらひのこ
 その甲いさつめは



○親慈悲連柳

何れもあつたまは
 たるせむらひのうら
 て甲いさつめはた
 のあさこころのこ
 ぶらそとのこひ乃
 うさやとりて
 りんものあさひ乃
 せれんをこころ
 つけさしてまきや
 のみよのまきこみ
 ちまのちりあさひ
 あひちりてまきや
 のうすとりてまき
 乃まきこみあさひ
 らんくまきやとり
 まきとりのこみ
 ぶんぐんとかりけ
 つひよらうらひの
 れたらうらひのこ
 その甲いさつめは

何れもあつたまは
 たるせむらひのうら
 て甲いさつめはた
 のあさこころのこ
 ぶらそとのこひ乃
 うさやとりて
 りんものあさひ乃
 せれんをこころ
 つけさしてまきや
 のみよのまきこみ
 ちまのちりあさひ
 あひちりてまきや
 のうすとりてまき
 乃まきこみあさひ
 らんくまきやとり
 まきとりのこみ
 ぶんぐんとかりけ
 つひよらうらひの
 れたらうらひのこ
 その甲いさつめは



何れもあつたまは
 たるせむらひのうら
 て甲いさつめはた
 のあさこころのこ
 ぶらそとのこひ乃
 うさやとりて
 りんものあさひ乃
 せれんをこころ
 つけさしてまきや
 のみよのまきこみ
 ちまのちりあさひ
 あひちりてまきや
 のうすとりてまき
 乃まきこみあさひ
 らんくまきやとり
 まきとりのこみ
 ぶんぐんとかりけ
 つひよらうらひの
 れたらうらひのこ
 その甲いさつめは

〇一生乃豊年
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと



けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと

〇一生乃豊年
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと



けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと
けしむはふふとけしむはふふと

李紳の農を憫詩云

鋤禾日當午 汗滴禾下土
誰知盤中飧 粒粒皆辛苦

曲亭馬琴作

豐年出現大穀田



は詩の... 農を憫... 誰知盤中飧... 粒粒皆辛苦

福と... 田... 穀... 豊年出現大穀田

